

■十分に光を当てて充電してからご使用 ください。

取扱説明書に従って時計の操作ができない場合は、充電不足と思われます。蛍光灯または白熱灯（30W）下約20cmの位置で約8時間以上充電してからご使用ください。その際、光源に時計を近づけ過ぎて時計が高温にならないように注意してください。

* 直射日光下では約1時間以上充電してください。

この時計は、日本国内の標準時刻電波（時刻情報）を受信して時刻やカレンダーを自動修正する電波受信機能や、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させる光発電機能を持ったアナログソーラーパワーウォッチです。

■電波の受信環境が悪い場合には

- 受信ができない場合があります。その場合は時刻及びカレンダーは正しく修正されません。
- 受信をしてもまれに時刻及びカレンダーが正しく修正されない場合があります。

このような場合は、5ページの電波受信機能についてを良くお読みの上、再度受信（強制または自動）を試みてください。もし、時刻及びカレンダーが正しく修正できない場合は、シチズンホットラインまたは最寄りの弊社サービスセンターへご相談ください。

◆シチズンホットライン  **0120-78-4807**

受付時間 9:30 ~ 17:30（祝日を除く月～金）

目次

1. ご使用になる前に	5
電波受信機能について	5
光発電機能について	8
2. 各部の名称と機能	9
3. ソーラーパワーウォッチ特有の機能について	12
充電警告機能/停止警告機能	14
復帰自動受信機能/時刻合わせ告知機能	15
4. ソーラーパワーウォッチ充電時間の目安	16
5. ソーラーパワーウォッチ取り扱い上の注意	18
6. モード（機能）の切り替え	20
7. 時刻・カレンダーの合わせ方	21
1) 電波受信による時刻・カレンダー合わせ	21
2) 手操作による時刻・カレンダー合わせ	25
8. ローカルタイムの使い方	27

9. サマータイム機能について	28
10. アラームの使い方	30
11. 基準位置確認モードについて	32
12. このような場合には	35
13. お取り扱いに当たって	37
14. 保証とアフターサービスについて	46
15. 製品仕様	48
16. シチズンサービスセンター所在地	49



注意

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡又は重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



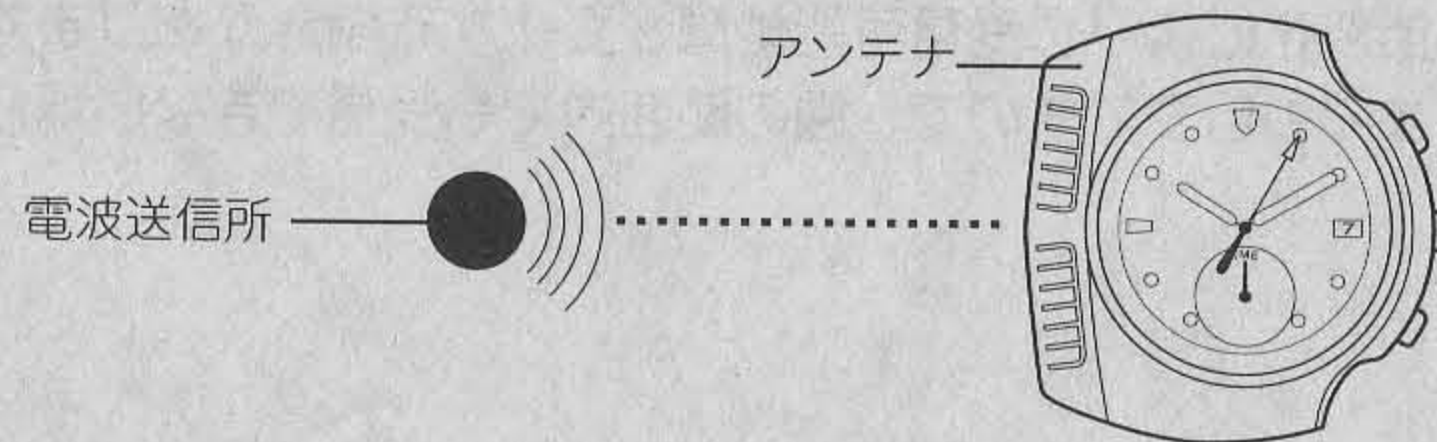
このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

1. ご使用になる前に

電波受信機能について

＜上手に受信をするために＞

- ・電波は、金属のしゃへい物により受信しにくいことがあります。鉄筋コンクリートの建物内などでは、できるだけ窓の近くで受信してください。
- ・安定した受信をするために、受信中は時計をあまり動かさないでください。
- ・何度か時計（アンテナ）の向きや場所を変えて受信を行い、あらかじめ受信しやすい場所及び方向を探しておくこと、より確実に受信することができます。
- ・電波送信所の方向に対し、アンテナを90度の向きで受信するのが理想です。



⚠ 受信が困難な場所について

次のような環境条件下では電波ノイズが発生しやすく、正確に受信できないことがあります。

- (1) 極端に高温や低温の場所。
- (2) 鉄筋コンクリート建物の中、高層ビルや山などの谷間、地下。
- (3) 車、電車、飛行機の中。
- (4) 高圧線、電車の架線、飛行場の近く。
- (5) テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。

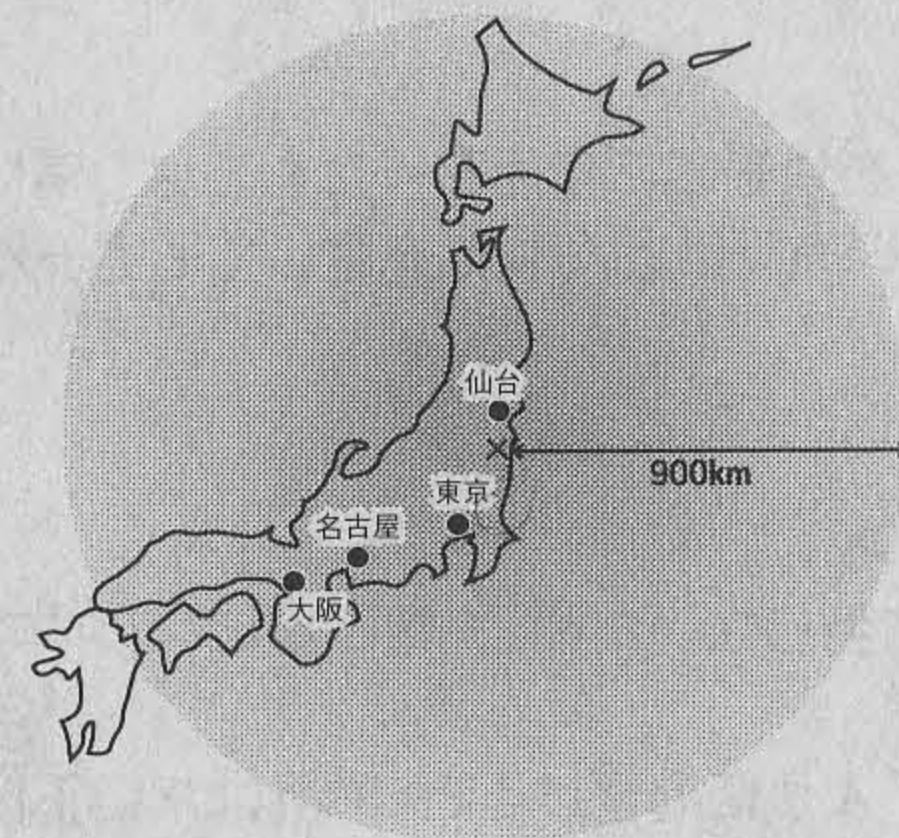
<受信可能地域の目安>

この時計の標準時刻電波の受信可能地域の目安は次の通りです。

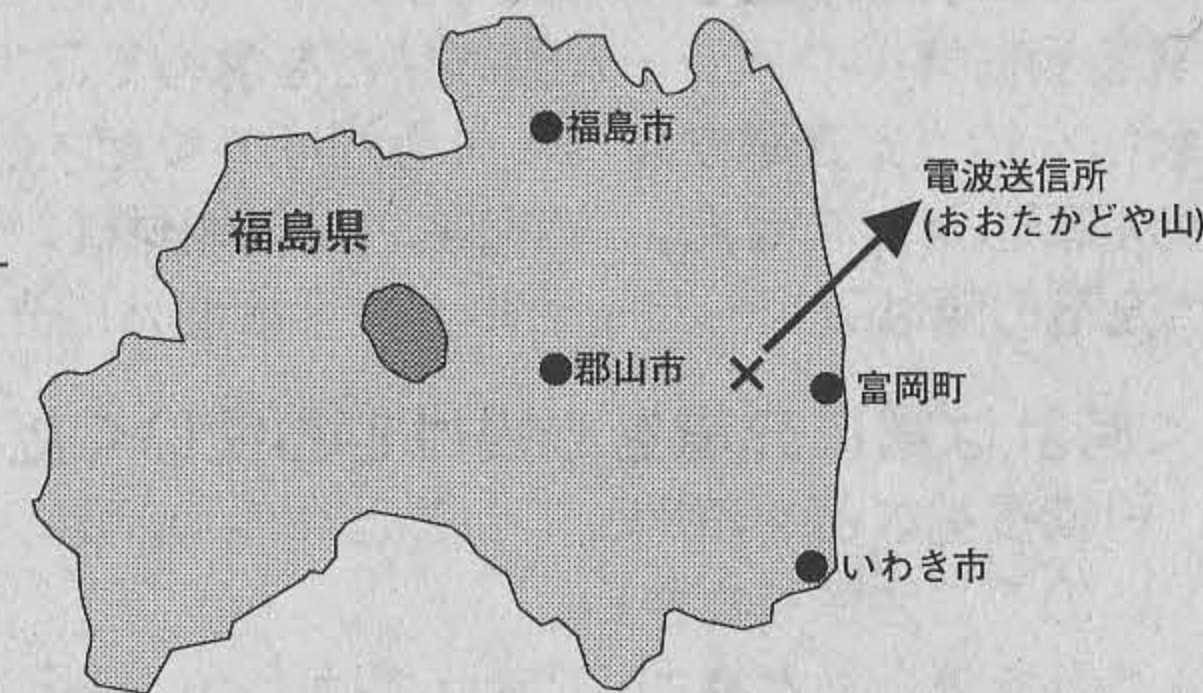
ただし、時間帯や季節変化により、受信可能地域が変化することがあります。

受信可能地域はあくまでも目安ですので、図の範囲内でも受信できない場合があります。

受信モード	標準時刻電波放送局	送信所所在地	受信可能範囲
TME	JJY	福島県川内村、都路村(おおたかどや山)	半径約 900km



<電波送信所の場所>



光発電機能について

この時計には、電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。
一度フル充電すると約5ヶ月間は充電しなくても時計は動き続けます。

<この時計の上手な使い方>

電波受信機能やアラーム機能などを含めてこの時計を快適にご使用頂くためには、常に余裕を持って充電することを心がけてください。この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません。(過充電防止機能付き)

*充電の際は、ソーラーセル(文字板面)に光を当ててください。

<時計は常に充電を心掛けてお使いください>

- ・日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- ・時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

2. 各部の名称と機能

ここからは巻頭の時計イラストと合わせてお読みください。

名 称	時刻モード	ローカルタイム (1/2/3)モード	基準位置確認 モード	アラーム モード	
Ⓐ ボタン	1回押す	サマータイム ON/OFF 確認	サマータイム ON/OFF 確認	デモ運針	ON/OFF 切り替え
	2秒以上 押す	サマータイム ON/OFF 切り替え	サマータイム ON/OFF 切り替え	—	—
Ⓑ ボタン	1回押す	受信結果確認	—	デモ運針	—
	2秒以上 押す	強制受信	—	—	アラーム音 モニター
Ⓜ ボタン	1回押す	モードの切り替え			
	1段引く	カレンダー 修正状態へ	時差修正状態へ	日付基準位置 修正状態へ	アラーム時刻 修正状態へ
	2段引く	時刻修正状態へ	時差修正状態へ	各針の基準位 置修正状態へ	アラーム時刻 修正状態へ

名 称	時刻モード	ローカルタイム (1/2/3)モード	基準位置確認 モード	アラーム モード
1. モード針	TME	LT-1/LT-2/LT-3	▶0◀	ALM
2. カレンダー表示	日付	日付(ローカルタイム)	◀	—
3. 午前/午後表示	時分針に合わせて常に午前(青)/午後(黄)を表示			
4. 時針	時刻(時)	ローカルタイム時刻 (時)	12時位置で停止	アラーム時刻 (時)
5. 分針	時刻(分)	ローカルタイム時刻 (分)	12時位置で停止	アラーム時刻 (分)
6. 秒針	時刻(秒)	ローカルタイム時刻 (秒)	12時位置で停止	ONまたはOFF

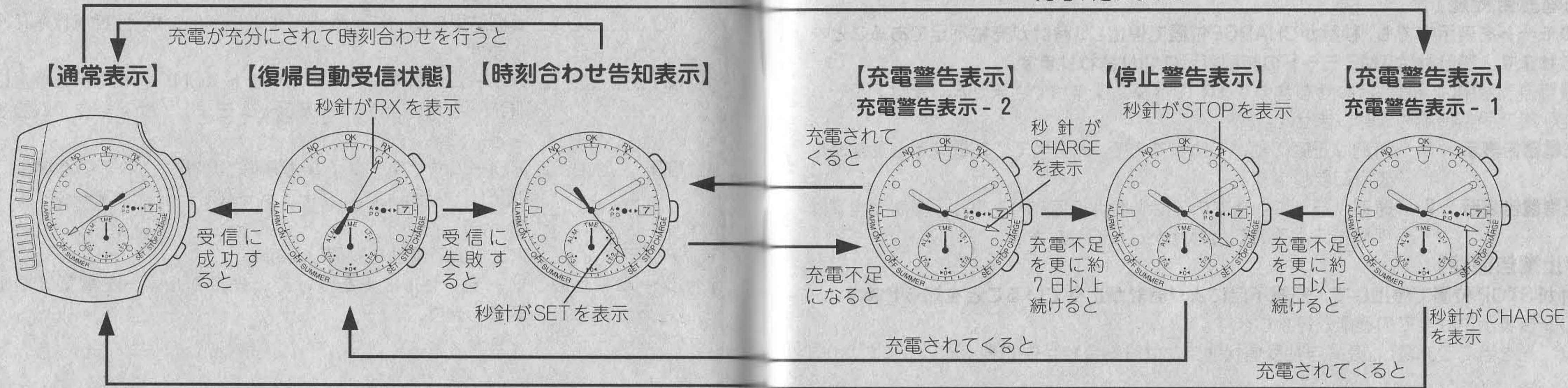
- a. CHARGE 充電不足になると、秒針が [CHARGE] を示します。
- b. STOP 充電不足によって時計が停止すると、秒針が [STOP] を示します。
- c. SET 時計が一度停止し、再度充電されて動き出したときに、秒針が [SET] を示し時刻が狂っていることを知らせます。

- d. RX 電波を受信中に秒針が [RX] を示します。
- e. OK 受信結果確認時に、受信が成功していた場合は秒針が [OK] を示します。
- f. NO 受信結果確認時に、受信に失敗していた場合は秒針が [NO] を示します。
- g. ON アラームやサマータイムがセット (ON) されている場合に秒針が [ON] を示します。(アラームモード、サマータイム設定確認時など)
- h. OFF アラームやサマータイムが解除 (OFF) されている場合に秒針が [OFF] を示します。(アラームモード、サマータイムモニター表示時)
- i. アンテナ アンテナで電波を受信します。
- j. ソーラーセル .. ソーラーセルに光を受けて、光エネルギーを電気エネルギーに変換します。

3. ソーラーパワーウォッチ特有の機能について

この時計は、充電不足になると警告機能が働いて表示が切り替わります。

充電不足になると



<ソーラーパワーの各警告機能説明～各警告機能表示になった場合は～>

前ページのイラストと合わせてお読みください。

[充電警告機能]

どのモードを表示中でも、秒針がCHARGE位置で停止し、時計が充電不足であることを知らせます。時分針はTMEモードの時刻表示に切り替わります。

充電警告表示中は、時刻合わせも含めすべてのボタン操作ができません。またアラーム機能、電波受信機能も作動しません。

充電警告表示—1 …時刻は正確に動いていますので、光を当てて充電すると通常時刻表示に戻ります。

充電警告表示—2 …時刻が狂っていますので、光を当てて充分充電し、強制受信又は手操作による時刻合わせを行ってください。

[停止警告機能]

秒針がSTOP位置で停止して、充電不足により時計が止まっていることを知らせます。

この警告表示中は全ての機能が停止します。

十分に光を当てて充電し、復帰自動受信状態または時刻合わせ告知表示にしてください。

[復帰自動受信機能]

停止警告表示から、十分に充電されると自動的に時計が電波受信をはじめます（復帰受信状態）。但し、**(M)** ボタンを引いた状態では復帰受信機能は作動しませんのでご注意ください。

・**受信が成功した場合**…時刻は正しい時刻で動きはじめています。そのままの状態で時計をご使用になれます。

・**受信に失敗した場合**…時刻合わせ告知表示になります。
この場合は強制受信または、手操作による時刻・カレンダー合わせを行ってください。

[時刻合わせ告知機能]

復帰受信で受信に失敗した場合は、時刻が狂っているため、秒針がSET位置を示し、時刻が狂っていることを知らせます。(時刻合わせ告知表示)

この表示状態でTMEモードにして、強制受信または手操作による時刻合わせをすれば通常時刻表示に戻ります。

時刻合わせ告知表示から充電不足になると、充電警告表示-2状態になりますので、充電不足にならないよう十分に充電してください。

4. ソーラーパワーウォッチ充電時間の目安

時計のモデル（文字板の色など）により充電時間は異なります。
あくまでも目安としてご利用ください。

照度 (ルクス)	環 境	充電時間		
		1日分の 充電時間	停止状態から 復帰自動受信 までの時間	フル充電 時間
500	屋内照明	約2時間30分	約36時間	約19日間
1,000	蛍光灯(30W)の下60cm～70cm	約65分	約16時間	約8日間
3,000	蛍光灯(30W)の下20cm	約20分	約6時間	約60時間
10,000	曇天	約6分	約2時間	約17時間
100,000	夏の日の直射日光下	約2分	約1時間	約4時間

* 充電時間は連続照射時間です。

フル充電時間 時計が停止している状態（停止警告表示）から最大に充電されるまでの時間。

1日分の充電時間 時計を1日動かすのに必要な時間。（通常運針時）



この時計は一度フル充電すると、充電しなくても約5ヶ月間動き続けます。
但し、一度停止（停止警告表示）してしまうと、表のように時計が動き出すまでに時間がかかります。
できるだけ毎日の充電を心掛けてご使用ください。

5. ソーラーパワーウォッチ取り扱い上の注意

注意 充電上の注意

- ・ 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので、高温下（約60℃以上）での充電は避けてください。
- 例) 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。
車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。
- ・ 白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して、時計が高温にならないように注意して充電してください。

警告 二次電池の取り扱いについて

- ・ お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・ 万一、二次電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談して治療を受けてください。

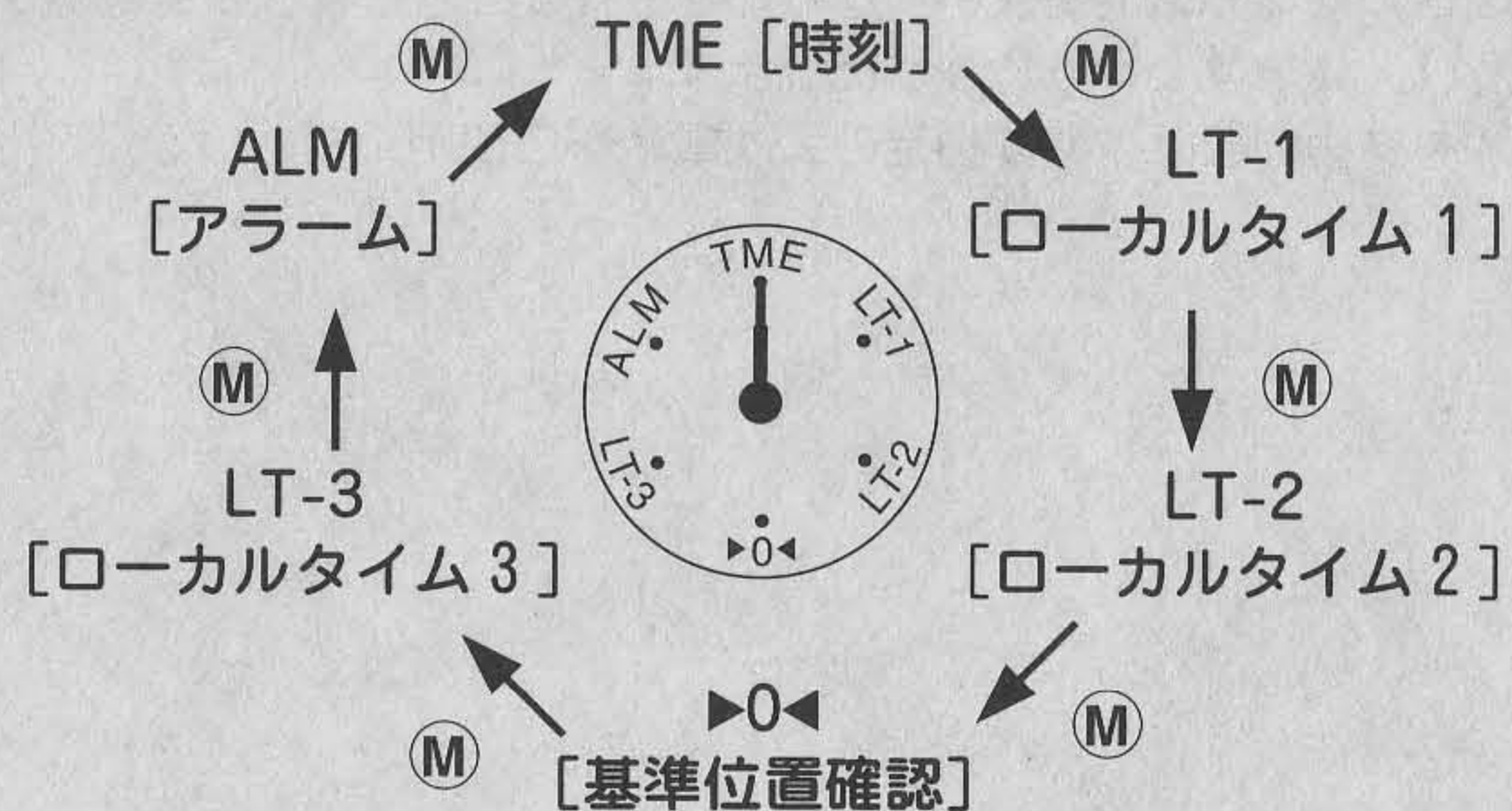
警告 指定の二次電池以外は使用しないでください

- ・ この時計用の純正二次電池以外の電池は絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池などの他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損及び人体を傷つける危険があります。
二次電池を交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

6. モード(機能)の切り替え

この時計は6つのモード(機能)を持っています。

Ⓜ ボタンを押す毎に下記のようにモードが切り替わります。現在のモードは、モード針の位置で確認できます。



7. 時刻・カレンダーの合わせ方

この時計の時刻・カレンダー合わせは次の2通りの方法があります。

- 1) 電波受信による合わせ方
- 2) 手操作による合わせ方

1) 電波受信による時刻・カレンダー合わせ

この時計の電波受信は次の3つの方法があります。電波受信がされると自動的に時刻・カレンダーが修正されます。

- 1) 自動受信：毎日決まった時間*1に時計が自動的に電波を受信します。
- 2) 強制受信：いつでも強制的に受信ができます。
- 3) 復帰自動受信：停止警告表示(「3. ソーラーパワーウォッチ特有の機能について」参照)から光が当たり、ある程度充電されると自動的に時計が電波を受信してくれます。

*1：午前2時から4時30分間に最高で6回の受信を試みます。

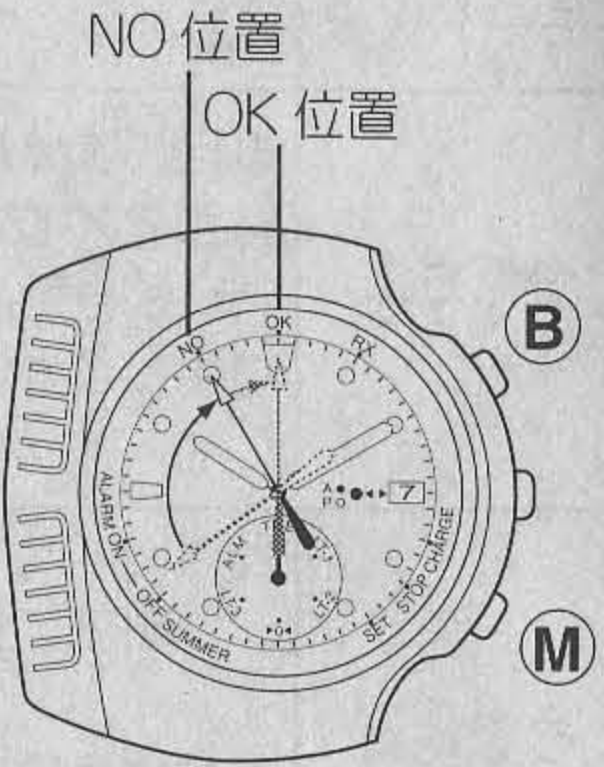


電波受信上の注意

- ・電波の受信は、TMEモードでのみ行われます。受信前には必ずTMEモードにしてください。
- ・充電不足による各警告機能表示中（秒針が止まっているとき）は電波受信はできません。十分に充電した後に再度強制受信を行ってください。
- ・受信による時刻、カレンダーの修正は受信に成功した場合のみ行われます。受信に失敗した場合は受信する前の時刻表示に戻ります。（充電復帰自動受信の場合のみ時刻合わせ告知表示に移ります）
- ・安定した受信をするために、受信中は時計を動かさないでください。
- ・受信にかかる時間は、約2～10分です。受信に失敗した場合は数十秒で通常表示に戻る場合があります。
- ・日本国内において正式にサマータイムが実施された場合、電波受信によって自動的にサマータイムに切り替わります。

<電波受信による時刻・カレンダー合わせ>

	自動受信	強制受信	図 示
1)モード選択	(M) ボタンを押してTMEモードにします。		<p>RX 位置</p>
2)受信方法	毎日決まった時間に秒針がRX位置を示し、時計が自動的に受信を開始します。	(B) ボタンをピッ！と音が鳴るまで押し続けます。秒針がRX位置を示し受信を開始します。	
3)受信結果表示	受信に成功すると、正しい時刻に修正されます。受信に失敗すると、受信前の時刻表示に戻ります。	受信に成功すると、ピッピッ！と音が鳴り、正しい時刻に修正されます。受信に失敗すると、ピッ！と音が鳴り、受信する前の時刻表示に戻ります。	

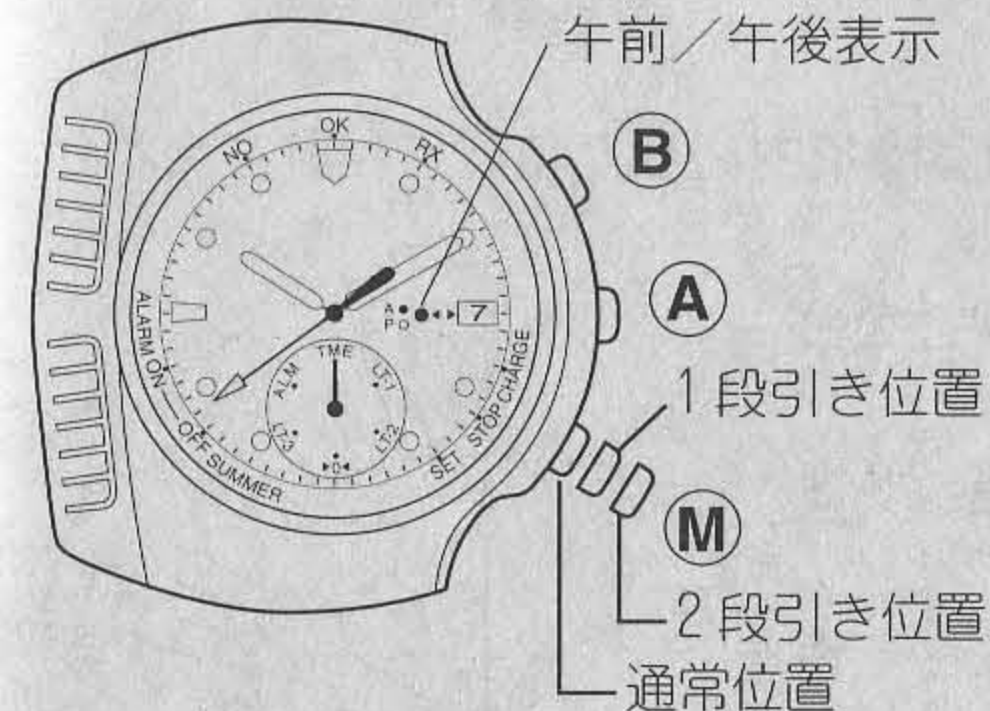
	自動受信	強制受信	図 示
☆受信の解除	自動受信中または強制受信中に (M) ボタンを押してモードを切り替えるか、その他のボタンを1秒以上押すと受信状態を解除することができます。		
☆受信結果の確認	受信結果の確認はTMEモードで行います。TMEモードで (B) ボタンを押すと、受信結果を約10秒間表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 受信に成功した場合は、秒針がOKを示します。 受信に失敗した場合は、秒針がNOを示します。 		



充電不足による各種警告表示（秒針が停止）中は、電波受信はできません。この場合は十分に充電した後で再度受信を行ってください。

2) 手操作による時刻・カレンダー合わせ

この時計は電波が受信できない場合でも、手操作での時刻合わせが可能です。



【時刻の合わせ方】

- (1) TMEモードで **(M)** ボタンを2段引きします。
- (2) **(A)** ボタンを押して秒を合わせます。
(A) ボタンを押すと、秒が00秒に戻リスタートします。
- (3) **(B)** ボタンを押して時分を合わせます。
(B) ボタンを押すごとに時分針を時計方向に1分ずつ修正でき、**(B)** ボタンを押し続けると早送りします。
- (4) **(M)** ボタンを通常位置に押し込みます。

* 時刻合わせの際は、午前/午後表示に注意してください。

☆午前/午後表示の見方

例) 午前0時(24時)
00分



* TME モードで時刻合わせを行うと、それに合わせてローカルタイムモード (LT-1,LT-2,LT-3) の時刻も変更されます。

【カレンダーの合わせ方】

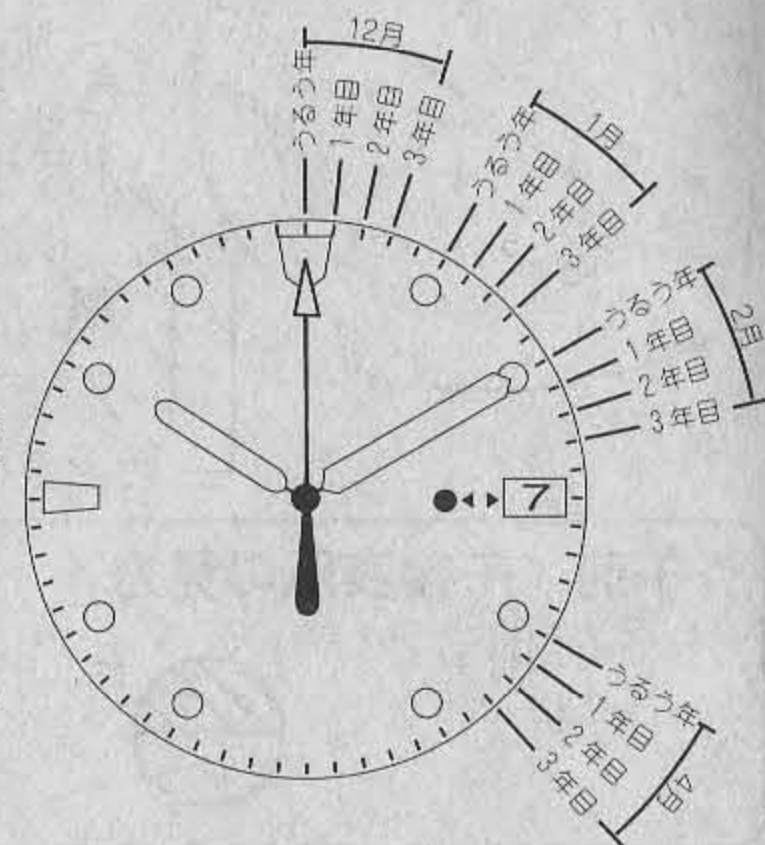
- (1) TME モードで **M** ボタンを1段引きします。
- (2) **A** ボタンを押して月と年(うるう年からの経過年)に対応した位置に秒針を合わせます。

例1) うるう年の12月の場合: 0秒の位置に秒針を合わせます。

例2) うるう年から3年経過した年の4月の場合: 23秒の位置に秒針を合わせます。

このセットを行うことで、オートカレンダーとして使用できますので、毎月末の修正は不要です。

- (3) **B** ボタンを押して日付を合わせます。
B ボタンを押すごとに日付を1日ずつ修正できます。
- (4) **M** ボタンを通常位置に押し込みます。



8. ローカルタイムの使い方

この時計は、TMEモードの時刻の他に別の地域時刻をセットしておけるローカルタイムモードを3つ持っています。この3つのローカルタイムの合わせ方は全て同じです。

【ローカルタイムの合わせ方】

このローカルタイムは、TMEモードの時刻を基準に1時間単位の時差修正によって合わせます。

- (1) LT-1、LT-2、LT-3のいずれかのモードで **M** ボタンを1段引きまたは2段引きします。
- (2) **A** または **B** ボタンを押してローカルタイムを合わせます。
A ボタンを押すと反時計周りで、**B** ボタンを押すと時計周りで1時間単位の時差修正ができます。
- (3) **M** ボタンを通常位置に押し込みます。



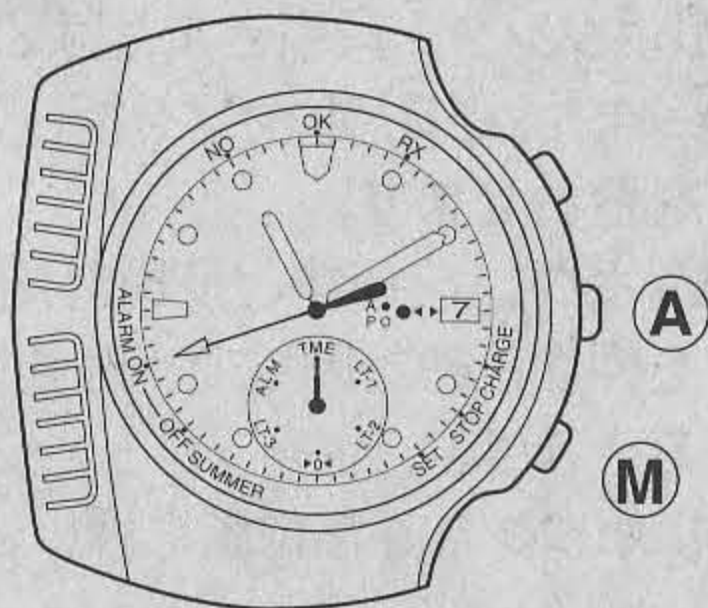
- * 時差の修正範囲は、-20時間～+3時間です。この時差修正範囲を超えて時差修正を行うと、日付変更線を超える為に日付が正しく表示されない場合があります。
- * 時差修正によって午前0時を通過すると、時差に合わせて日付も変わります。
- * ローカルタイムモードでは電波受信はできません。

9. サマータイム機能について

この時計は、時刻及びローカルタイムの各モードで、それぞれ単独にサマータイムを設定することができます。

【サマータイム確認】

TME、LT-1、LT-2、LT-3の各モードで、**(A)** ボタンを押すと、そのモードがサマータイム設定されているか否かを約10秒間表示します。



- ・ サマータイムが設定されている場合は、秒針がONを示します。
- ・ サマータイムが非設定の場合は、秒針がOFFを示します。

【サマータイムの切り替え方】

- (1) **(M)** ボタンを押して、サマータイムを設定したいモード (TME, LT-1, LT-2, LT-3のいずれか) にします。
- (2) **(A)** ボタンを約2秒以上押す毎に確認音が鳴り、サマータイムの設定(ON)と非設定(OFF)が切り替わります。

10. アラームの使い方

このアラームは一度セットすると、毎日同じ時刻に約15秒間アラーム音が鳴ります。

【アラームのセット方法】

アラームは24時間制です。アラームセットの際は午前/午後表示に注意してください。

(1) **M** ボタンを押してALMモードにします。

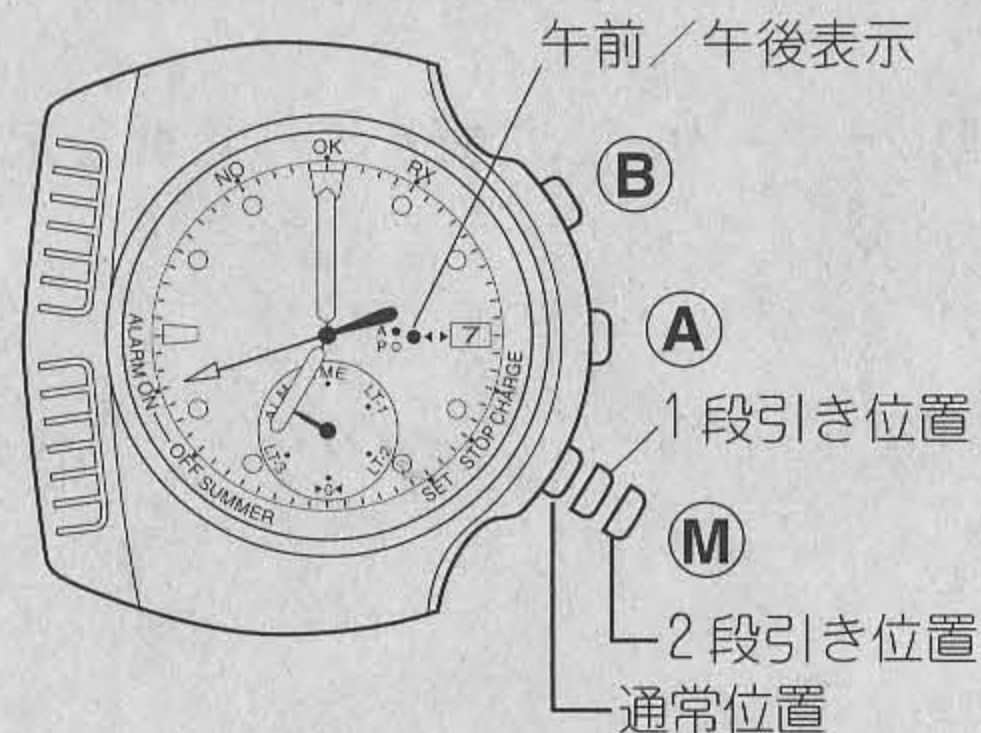
(2) **M** ボタンを1段引きまたは2段引きします。

M ボタンを引き出すとアラームは自動的にONになります。

(3) **A** または **B** ボタンを押してアラーム時刻(時分針)を合わせます。

A ボタンを押すと反時計周りで、**B** ボタンを押すと時計周りで修正できます。

(3) **M** ボタンを通常位置に押し込みます。



【アラームのON/OFF とアラームモニター】

アラームモードで **A** ボタンを押す毎に確認音が鳴り、アラームのセット(ON)と解除(OFF)が切り替わります。

B ボタンを押している間アラーム音の確認ができます。

【アラームの使い方例】

アラームをセットした後、表示中のモードの時刻がアラームセット時刻になるとアラーム音が鳴ります。

鳴っているアラームは、**A** ボタンまたは **B** ボタンを押すと鳴り止みます。

例) アラームを午前7時にセットした場合、

TMEモードを表示している場合は、TMEモードの時刻が午前7時になるとアラーム音が鳴ります。

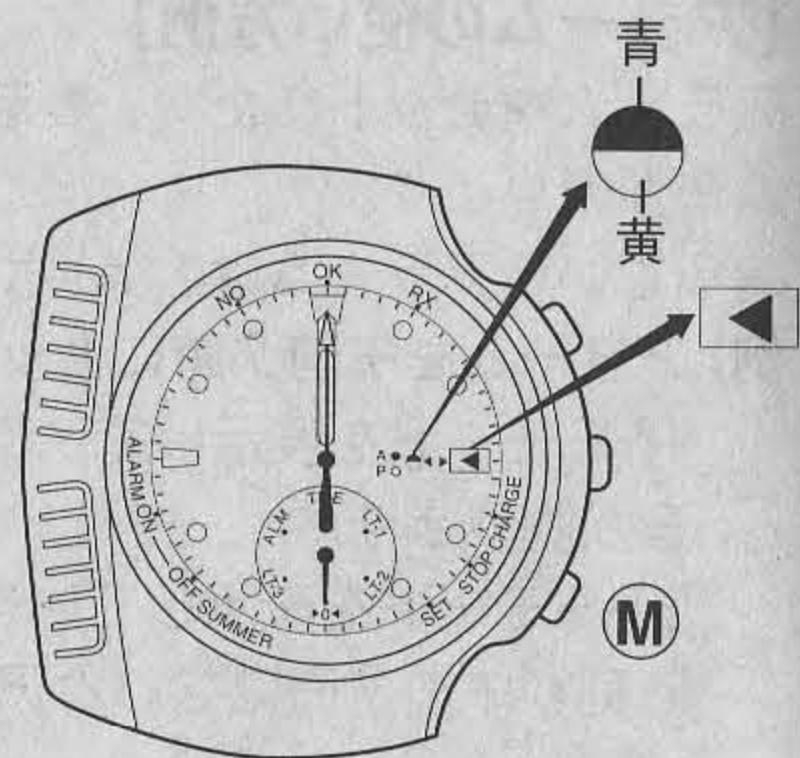
LT-1モードを表示している場合は、TMEモードとの時差に関係なくLT-1モードの時刻が午前7時になるとアラーム音が鳴ります。

11. 基準位置確認モードについて

時計に強い衝撃等が加えられた際は、必ずこのモードでこの時計のすべての基準となる針位置確認を行ってください。

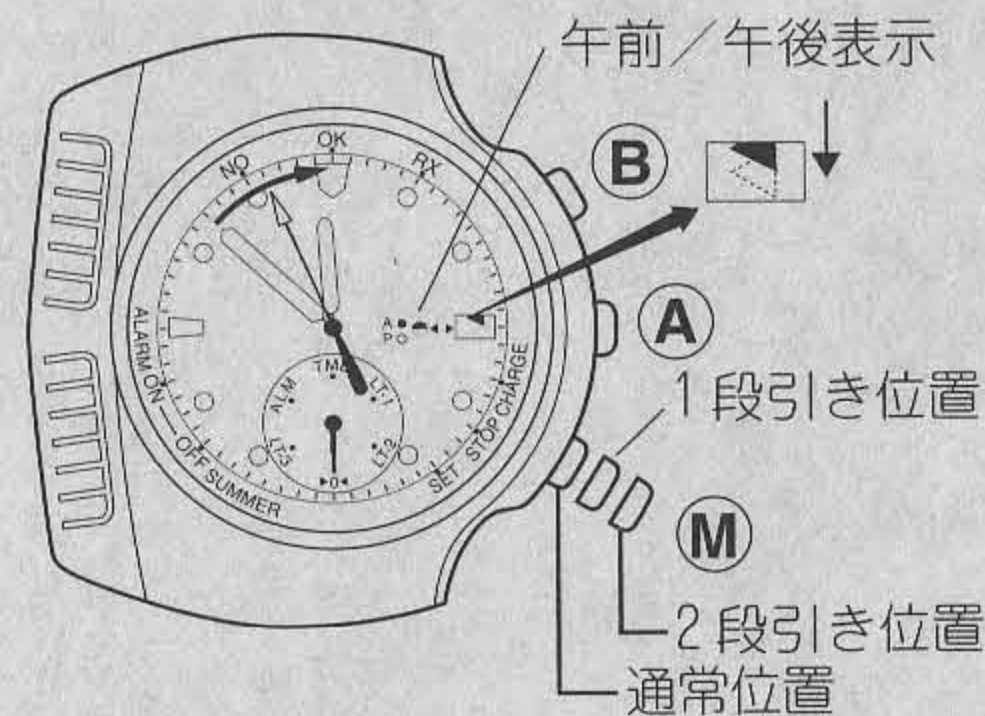
【基準位置の確認方法】

- (1) **M** ボタンを押して▶0◀モードにします。
各針、午前/午後表示、日付が次の位置(基準位置)を示していることを確認します。
 - ・秒針…0秒位置
 - ・時分針、午前/午後表示…午前0時00分
 - ・日付表示…◀マーク
- (2) 各表示が正常な位置を示している場合は、電波受信または手操作によって時刻/カレンダー合わせをします。もし、各表示の基準位置が狂っている場合は、[基準位置の合わせ方]に従って基準位置を修正してください。



【基準位置の合わせ方】

- (1) **M** ボタンを押して▶0◀モードにします。
- (2) **M** ボタンを1段引きします。
- (3) **A** または **B** ボタンを押して日付の基準位置を合わせます。
A ボタンを押すと反時計周りで、**B** ボタンを押すと時計周りで修正できます。(◀マークは31と1の間にあります)
- (4) **M** ボタンを更に引き出して、2段引きにします。
- (5) **A** ボタンを押して、秒針の基準位置を合わせます。
A ボタンを押す毎に時計方向に1秒ずつ修正でき、押し続けると早送りします。



- (6) **B** ボタンを押して時分針及び午前／午後表示の基準位置を合わせます。
B ボタンを押す毎に時計方向に1/3分ずつ修正でき、押し続けると早送りします。
- (7) **M** ボタンを通常位置に押し込みます。

* 基準位置合わせ後は、必ず電波受信または手操作によって、時刻／カレンダーを修正し直してからご使用ください。

12. このような場合には

状 況	確認ください	対処方法
受信状態にならない	秒針が次の位置で停止していませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ・ 充電警告位置 (18秒) ・ 停止警告位置 (21秒) 	秒針が左記の位置で停止している場合は、充電不足です。十分に充電した後で再度受信を行ってください。 本書「ソーラーパワーの各警告機能説明」(P14)を参照ください。
受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受信の際、TMEモードが選択されていますか？ ・ 受信可能な地域から外れていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ TMEモードを選択してから再度受信を行ってください。 ・ 本書「受信可能地域の日安」(P8)を参照ください。
受信できない (受信可能地域内で)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電波をしゃへいする物やノイズを発生させる物が近くにありませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本書「上手に受信をするために」及び「受信が困難な場所について」(P7)を参照ください。 部屋の模様替えなどによる受信環境の変化を確認ください。

状 況	確認ください	対処方法
受信されたはずなのに現在時刻と合っていない	<ul style="list-style-type: none"> 各表示(針)の基準位置が狂っていませんか? サマータイムは正しく設定されていますか? 	<ul style="list-style-type: none"> 本書「11.基準位置確認モードについて」(P32)を参照してください。基準位置がずれている場合は、基準位置を正しく合わせ直してください。 本書「9.サマータイム機能について」(P28)を参照して、サマータイムの設定を確認してください。

13. お取り扱いに当たって

警告 防水性能について


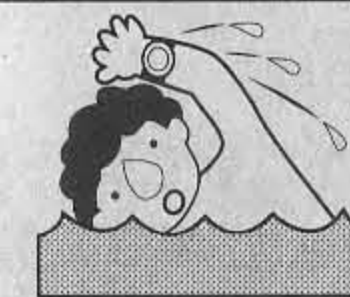
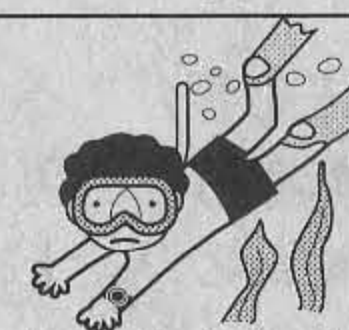
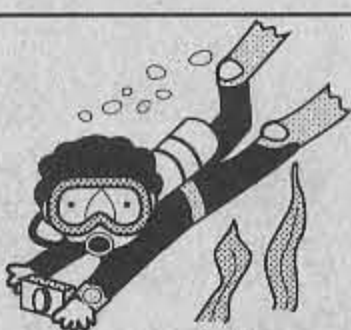

- 日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキューバダイビング)などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

防水性について

- 時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。

(1bar は約 1 気圧に相当します)

- WATER RESIST(ANT)××bar は W.R. ××bar と表示している場合があります。

名称	表示		仕様	使用例				
	文字板	ケース(裏ぶた)						
日常生活用 防水時計	無表示	WATER RESIST(ANT)	3 気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用 強化防水時計	WATER RESIST 5bar または無表示	WATER RESIST(ANT) 5bar または WATER RESIST(ANT)	5 気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用 強化防水時計	WATER RESIST 10/20bar または無表示	WATER RESIST(ANT) 10/20bar または WATER RESIST(ANT)	10 気圧防水 20 気圧防水	○	○	○	×	×

注意

- 水分のついたままボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。
- 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
- 万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときはそのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社サービスセンターへ修理、点検を依頼してください。
- 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、ボタンなど）が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ウレタンバンドは、衣類などの染料や汚れが付着し、除去できなくなる場合があります。色落ちするもの（衣類、バック等）と一緒に使用する場合はご注意ください。

注意 バンドのお取り扱いについて（着脱時の注意）

- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

注意 時計は常に清潔に

- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。
かぶれの原因は
 1. 金属、皮革アレルギー
 2. 時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

<時計のお手入れ方法>

- ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
- 皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。

- 金属バンド／プラスチックバンド／ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 溶剤類（シンナー、ベンジンなど）の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

<ナチュライトについて>

- 「ナチュライト」は、放射線物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な蓄光性の物質を使用した夜光塗料です。
ナチュライトは、太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。ただし、蓄えた光を放出させるため、時間の経過と共に少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。また、光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に誤差が生じます。
光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。
なお、ナチュライトを使用している時計は、文字板面下部にN-JAPAN-Nと印刷されています。

<温度について>

- 10℃～+60℃から外れた温度下では機能が低下したり、停止することがあります。

<磁気について>

- 磁石には近づけないでください。磁気健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア・バックの止め具、携帯電話のイヤホン部など、磁気に近づけると時刻が狂います。この場合は磁気から離して時刻修正をし直してください。

<静電気について>

- クオーツウオッチに使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。テレビ画面などの強い静電気を受けると表示が狂うことがありますのでご注意ください。

<ショックについて>

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含むもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保管について>

- 長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。
- 時計を長期間ご使用にならない場合、できるだけ光が当たる場所で保管することをおすすめします。また、「基準位置確認モード」にして保管すると、持続時間が長続きします。

14. 保証とアフターサービスについて

1. 保証について

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

2. 修理用部品の保有期間について

当社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・ボタン・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

3. 修理可能期間について

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

4. ご転居・ご贈答品の場合

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、最寄りの弊社サービスセンターにご相談ください。

5. 定期点検について

安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度の定期点検を行ってください。防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。部品交換の際は、純正部品をご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または最寄りの弊社サービスセンターにご相談ください。

6. その他お問い合わせについて

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または、弊社サービスセンターにご相談ください。

15. 製品仕様

1. 型式：アナログソーラーパワーウォッチ
2. 時間精度：平均月差±15秒（非受信時：常温+5℃～+35℃携帯時）
3. 作動温度範囲：-10℃～+60℃
4. 表示機能：
 - ・時刻：時、分、秒、午前／午後表示
 - ・日付（フルオートカレンダー）
 - ・ローカルタイム1／2／3：1時間単位の時差修正
 - ・アラーム：時、分（24時間制アラーム）
5. 付加機能：
 - ・電波受信機能（使用温度範囲：0℃～+40℃）
 - ・光発電機能
 - ・充電警告機能／停止警告機能／時刻合わせ告知機能
 - ・サマータイム機能
6. 持続時間：
 - ・フル充電～時計停止まで：約5ヶ月
 - ・充電警告表示～時計停止まで：約7日
7. 使用二次電池 二次電池 1個

* 製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。